

2019年 8月 19日

鹿児島大学病院 消化器内科 で

消化管・胆膵疾患に対する治療を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

消化管・胆膵疾患の新規バイオマーカーの探索および病態解明

【研究機関】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科
教授 井戸 章雄

【研究の目的】

消化器系の癌は全癌の半数以上を占め、予後の改善には早期発見が不可欠で、新しい腫瘍マーカーの開発が望まれています。また、クローン病、潰瘍性大腸炎、自己免疫性膵炎をはじめとした難治性消化器疾患の原因は不明です。そこで、新規の診断または治療の効果を判定する評価方法が待たれています。本研究の目的は、消化器系癌、消化器疾患患者より採取した検体（血清、血漿、胆汁、膵液、腸液、組織、唾液、尿、便）を用いて解析を行うことにより消化器癌疾患の新規バイオマーカーの探索および病態解明を行うことです。病気の原

因が明らかとなれば、簡便な診断法や治療成績の向上に繋がり、患者さんへの恩恵も多大なものになると考えます。

【研究の方法】

通常診療で行われている方法で採血、尿、便、唾液検査の試料・情報等を用います。また内視鏡検査・生検を行われた患者さんの場合は、診断・治療目的で採取した胆汁、膵液、腸液、組織の一部を使用します。採取した血液や組織中に含まれる蛋白や遺伝子の量や質を検討します。

【対象となる患者さん】

2019年4月1日～2029年3月31日に当科で消化器（咽頭、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門、胆道、膵臓）に異常のある消化器疾患と診断された患者を対象とします。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

消化器系癌、消化器疾患患者より採取した検体（血清、血漿、胆汁、膵液、腸液、組織、唾液、尿、便）を用います。診療録からは疾患名、性別、年齢、治療内容などについての情報を用います。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療・健康医学講座

特任助教 小牧 祐雅

電話 099-275-5326 FAX 099-264-3504